資料3

日本版改良藤田スケールに関する ガイドラインの見直しについて

気象庁

近年の検討状況

2017

第7回　検討会

新規のDI（被害指標）、DOD（被害度）の必要性を確認

2018

第8回　検討会

8つのDIでDODの見直し

住宅棟において屋根ふき材の追加や区別、園芸施設や自動車において目視で分かる程度の被害の追加、電柱における耐力を考慮など

2019

第9回　検討会

2つのDIでDODの見直し、25m/s未満の追加など

木造の住宅または店舗における目視で分かる程度の被害の追加、鉄筋コンクリート造の集合住宅における評定の見直しなど

2020

2021

第10回　検討会

研究の進捗状況や検討の方向性の確認

新規DI（被害指標）の検討状況

第7回検討会時における新規DI提案と検討状況

新規DI（被害指標）	検討状況	ステータス
船舶	小型船舶を対象に検討を進めることとし、風洞実験＋解析で転覆風速を見積る	継続
寺社	被害画像の収集などを進め、事例を確認し、新規追加の要否を判断	
石灯籠	石灯籠の形状、施工方法で大きく評価が変わるので、単純な評価が難しい。詳細調査の必要がある場合にどのようなことを調べて、どのような計算をすべきかのドキュメントを作成する	
墓誌	石灯籠に同じ	
土蔵	屋根ふき材は、木造住宅（DI:1）や木造非住家（DI:7）を準用することとした	終了
門扉	調査したところ、転倒防止対策がない場合20m/s程度でJEF0未満だった 風速が弱いことから、ガイドラインには掲載しないこととした	
仮設トイレ	調査したところ、転倒はJEF0未満が多いことが分かった 風速が弱いことから、ガイドラインには掲載しないこととした	

新規DOD（被害度）の検討状況

第7回検討会時における新規DOD提案と検討状況

DI番号	DI（被害指標）	新規DOD（被害度）	検討状況	ステータス
1	木造の住宅又は店舗	金属系以外の外壁材のはく離	検討中（窯業系サイディング）	継続
4	仮設建築物	内容量や飛散距離を考慮したDOD	検討中	
5	大規模な庇･独立上家の屋根	スレート製建材	検討中	
8	園芸施設	プラスチックハウスのガラスの破損	第8回検討会で追加	終了
10	物置	内容量や飛散距離を考慮したDOD 横ズレと横転との差 ステー固定が張られたケース	検討中（固定された物置）	継続
13-15	軽、普通、大型自動車	横ズレと横転との差 目視でわかる程度の被害（窓ガラスの破損）	第8回検討会で追加	終了
20	カーポート	片持ち支持型以外のカーポートやガレージ	検討中	継続
25、26	広葉樹、針葉樹	街路樹	検討中（被害情報収集）	
27	墓石（棹石）	横ズレと横転との差	検討中	

これまでに追加･修正したDOD（被害度）

第7回検討会後におけるガイドラインの追加･修正

DI番号	DI（被害指標）	追加･修正したDOD
1	木造の住宅又は店舗	DOD2と3に「化粧スレートぶき」を追加（第8回） DOD4と7で「開口部が損壊していない場合」を追加（第9回）
2	鉄骨系プレハブ住宅又は店舗	
3	鉄筋コンクリート造の集合住宅	DOD2、3、4の風速を修正（第9回） 手すりが一体となって脱落した場合は対象外（第9回）
7	木造の非住家建築物	DOD2と3で「粘土瓦ぶき」と「金属板ぶき」を区別（第8回） DOD4の「上部構造の著しい変形又は倒壊」を独立（第8回）
8	園芸施設	DOD1に「目視で分かる程度の被害」を追加（第8回）
13	軽自動車	DOD1に「目視でわかる程度の被害、窓ガラスの破損」を追加（第8回） DOD2に「横滑り」を追加（第8回）
14	普通自動車	
15	大型自動車	
17	電柱	DOD1と2で耐力による区別を3つに拡張した（第8回）

検討会のフォローアップ

第8回、第9回検討会時における指摘事項と対応・検討状況

検討会	ご指摘事項	対応・検討の状況
第8回	現象不明ではなく、竜巻やダウンバーストの可能性があれば、その旨を示すこと	「不明」としていたものを、「不明（竜巻の可能性）」と現象の確度を表記するよう変えていく
	JEF1といったある程度大きな突風は可能な限り現象を特定するべき	現象特定が進むよう、担当者の研修や官署の支援を実施している
第9回	気象と風工学の連携を進めること	地域における大学等の研究機関と、平時における交流や現地調査など連携を進めていく